

1. 活動のテーマ

<テーマ>

神様からのプレゼント

<テーマの設定理由>

- ・カトリック園で生活の節目ごとに祈る機会がある
- ・月に数回教会訪問や神父様の話を聞く
- ・創世記の話を聞き、神様が世界が作られたことを知り想像する姿があった。

2. 活動スケジュール

- ・定期的に神父様の話を聞き、神様のなさったことや考えに触れる
- ・創世記の話を聞く
- ・神様がお創りになつと物を表現してお祭りのシンボルタワーを製作する
- ・クリスマス会で聖劇をする
- ・聖劇に出てくる不思議な星の存在や神様が作られたものに興味を示し、プラネタリウムで星や惑星について学ぶ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

段ボール 他製作材料 動物や魚を調べるための図鑑

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

神様がお創りになつと物を表現してお祭りのシンボルタワーを製作する

夏祭りや盆踊りなどの話題の中で神様が世界を作ってくれたから夜がある→夏祭りは夜があるからできる→神様ありがとう、といった流れとなり、神様がお創りになった物を表現してシンボルタワー製作をする

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

夏祭りの絵本を読み、保育園では外ではないが本来は夏の夕方から夜にかけて外で夏祭りが行われると知った子どもたちと何か飾りを作ろうという話をしていると、神様が月と星を作らなかつたら夜はなかったね…という声があがり、シンボルタワーに神様がお創りになった物を表現していこうという話でまとまった。櫓は作れないけど背の高い物にしたらどうかという保育士の声かけにより子どもたちが作りたい物のテーマを上げ、動物・魚・花などテーマごとの飾りのボックスを作り積み上げて行くこととなった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

お祭りの話題から神様の作られたものへとつながっていくと思っていなかったで、子どもたちの想像力と創世記の話の影響に驚かされた。子どもたちは動物や魚の図鑑を熱心にみて似ているように見えても小さな違いがあるものなどに目を向け「不思議だね…」と興味を示す姿があった。そのようなことから神様の力の大きさに気付けるような働きかけを続けていきたいと感じている。